

## 參考資料

## 1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小

指標項目	現状	目標
①健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の延伸) 〔資料：厚生労働科学研究「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」〕	男性 71.07年 女性 75.27年 (平成22年)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 (平成34年度)
②健康格差の縮小(日常生活に制限のない期間の平均の市町村格差の縮小)	—	市町村格差の縮小 (平成34年度)

## 2 生活習慣病の発症予防と重症化予防

### (1)がん

#### ア がんの年齢調整死亡率の減少

指標項目	現状	目標
75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(人口10万当たり) 〔資料：国立がん研究センターがん対策情報センター「全がん死亡数・粗死亡率・年齢調整死亡率」〕	81.4 (平成23年)	71.2 (平成29年度)

#### イ がん検診受診率の向上

指標項目	現状	目標
がん検診の受診率の向上 ※40歳～69歳、子宮がんは20歳～69歳 〔資料：厚生労働省「平成22年国民生活基礎調査」〕	〔胃がん〕 35.8% 〔肺がん〕 28.5% 〔大腸がん〕 27.8% 〔子宮がん〕 (過去2年間) 41.6% 〔乳がん〕 (過去2年間) 43.1% (平成22年)	50.0% (平成29年度)

### (2)循環器疾患

#### ア 脳血管疾患・虚血性心疾患の死亡率の減少

指標項目	現状	目標
①脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万当たり) 〔資料：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」〕	男性 51.3 女性 29.7 (平成22年)	男性 43.1 女性 27.2 (平成34年度)
②虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万当たり) 〔資料：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」〕	男性 25.3 女性 10.7 (平成22年)	男性 21.8 女性 9.5 (平成34年度)



### イ 高血圧の改善

指標項目	現状	目標
高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下) 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	男性 134.9mmHg 女性 132.9mmHg (平成22年度)	男性 131mmHg 女性 129mmHg (平成34年度)

### ウ 脂質異常症(高コレステロール血症)患者の減少

指標項目	現状	目標
脂質異常症の減少  〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	〔総コレステロール値 240mg/dl以上の者の割合〕 40～79歳男性 13.7% 40～79歳女性 22.7% 〔LDLコレステロール値 160mg/dl以上の者の割合〕 40～79歳男性 12.3% 40～79歳女性 9.3% (平成22年度)	〔総コレステロール値 240mg/dl以上の者の割合〕 40～79歳男性 10.0% 40～79歳女性 17.0% 〔LDLコレステロール値 160mg/dl以上の者の割合〕 40～79歳男性 9.0% 40～79歳女性 7.0% (平成34年度)

### エ メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少

指標項目	現状	目標
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少 〔資料：厚生労働省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」〕	該当者 14.6% 予備群 11.9% (平成20年度)	平成20年度に比べて 25%以上減少 (平成29年度)

### オ 特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上

指標項目	現状	目標
①特定健康診査の実施率の向上 〔資料：厚生労働省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」〕	44.0% (平成22年度)	70%以上 (平成29年度) ※当面60%以上
②特定保健指導の実施率の向上 〔資料：厚生労働省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」〕	10.9% (平成22年度)	35%以上 (平成29年度)

## (3) 糖尿病

### ア 糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少

指標項目	現状	目標
合併症(糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数)の減少 〔資料：日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」〕	324人 (平成22年)	300人 (平成34年度)

### イ 治療継続者の割合の増加

指標項目	現状	目標
治療継続者の割合の増加 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	70.3% (平成22年)	80.0% (平成34年度)

### ウ 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少

指標項目	現状	目標
血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の者の割合) 〔資料：厚生労働省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」〕	1.3% (平成22年度)	1.1% (平成34年度)

### エ 糖尿病有病者の増加の抑制

指標項目	現状	目標
糖尿病有病者の増加の抑制(40～75歳) 〔資料：厚生労働省「都道府県における医療費適正化計画の策定に係る参考データ」〕	117,000人 (平成22年度)	131,000人 (平成34年度) ※従前の傾向が続くとした場合 185,000人

### (4)慢性閉塞性肺疾患(COPD)

指標項目	現状	目標
COPDの認知度の向上	—	80% (平成34年度)

## 3 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

### (1)こころの健康

#### ア 気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少

指標項目	現状	目標
気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている者の割合の減少(20歳以上) 〔資料：厚生労働省「平成22年国民生活基礎調査」〕	8.2% (平成22年)	7.4% (平成34年度)

#### イ メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加

指標項目	現状	目標
メンタルヘルスに関する措置を受けられる職場の割合の増加 〔資料：群馬労働局「平成22年心の健康対策に関するアンケート調査」〕	30.5% (平成22年)	100% (平成32年)

#### ウ 小児人口10万当たりの小児科医の割合の増加

指標項目	現状	目標
小児人口10万当たりの小児科医の割合の増加 〔資料：厚生労働省「平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査」〕	99.6 (平成22年)	増加傾向へ (平成26年)



## エ 自殺者の減少

指標項目	現状	目標
自殺者の減少 〔資料：厚生労働省「平成23年人口動態統計」〕	476人 (平成23年)	群馬県自殺総合対策行動計画の見直しの状況を踏まえて設定 (参考値) 平成25年 450人以下

## (2)次世代の健康

### ア 健康な生活習慣(栄養・食生活、運動)を有する子どもの割合の増加

#### (ア)朝・昼・夕の三食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加

指標項目	現状	目標
朝・昼・夕の三食を必ず食べることに気をつけて食事をしている子どもの割合の増加 〔資料：平成24年度食事習慣に関するアンケート調査(保健予防課)〕	小学5年生 93.4% (平成24年度)	小学5年生 100%に近づける (平成34年度)

#### (イ)運動やスポーツを習慣にしている子どもの割合の増加

指標項目	現状	目標
運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加 〔資料：文部科学省「平成22年全国体力・運動能力、運動習慣等調査」〕	(参考値)週に3日以上 小学5年生 男子 57.8% 女子 31.8% (平成22年)	増加傾向へ (平成34年度)

### イ 適正体重の子どもの増加

#### (ア)出生者数中の低出生体重児の割合の減少

指標項目	現状	目標
全出生数中の低出生体重児の割合の減少(出生千人あたり) 〔資料：厚生労働省「平成23年人口動態統計」〕	92.9 (平成23年)	減少傾向へ (平成26年)

#### (イ)肥満傾向にある子どもの割合の減少

指標項目	現状	目標
肥満傾向にある子どもの割合の減少 〔資料：文部科学省「平成23年度学校保健統計調査」〕	小学5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合 男子 5.93% 女子 3.86% (平成23年)	減少傾向へ (平成26年度)

## (3)高齢者の健康

### ア 介護保険サービス利用者の増加の抑制

指標項目	現状	目標
介護保険サービス利用者の増加の抑制 〔資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」〕	72,193人 (平成24年)	104,000人 (平成37年度)

#### イ 認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上

指標項目	現状	目標
認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上 〔資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」〕	(参考値)全国値 0.9% (平成21年)	10% (平成34年度)

#### ウ 低栄養傾向の高齢者の割合の増加の抑制

指標項目	現状	目標
低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	18.7% (平成22年度)	23% (平成34年度)

#### エ ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している県民の割合の増加

指標項目	現状	目標
ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している県民の割合の増加	—	80% (平成34年度)

#### オ 足腰に痛みのある高齢者の割合の減

指標項目	現状	目標
足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(千人当たり) 〔資料：厚生労働省「平成22年国民生活基礎調査」〕	腰痛 182.4 手足の関節の痛み 118.9 (平成22年)	腰痛 165 手足の関節の痛み 107 (平成34年度)

#### カ 高齢者の社会参加の促進

指標項目	現状	目標
高齢者の社会参加の促進(社会貢献活動をしている高齢者の割合の増加) 〔資料：元気な高齢者の活躍に係る県民アンケート(介護高齢課)〕	男性 36.7% 女性 24.8% (平成23年)	男性 70% 女性 45% (平成34年度)

### 4 健康を支え、守るための社会環境の整備

#### (1)地域のつながりの強化

指標項目	現状	目標
地域のつながりの強化(居住地域で互いに助け合っていると思う県民の割合の増加) 〔資料：内閣府「平成19年少子化対策と家族・地域のきずなに関する意識調査」〕	(参考値)全国値 自分と地域のつながりが強い方だと思う割合 45.7% (平成19年)	65% (平成34年度)



(2)健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている県民の割合の増加

指標項目	現状	目標
健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている県民の割合の増加 〔資料：総務省「平成23年社会生活基本調査」〕	(参考値) 健康や医療サービスに関係したボランティア活動をしている割合 3.5% (平成23年)	28% (平成34年度)

(3)健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業数の増加

指標項目	現状	目標
健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業登録数の増加 〔資料：スマート・ライフ・プロジェクト参加企業〕	5社 (平成24年)	35社 (平成34年度)

(4)健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点の増加

指標項目	現状	目標
健康づくりに関して身近で専門的な支援・相談が受けられる民間団体の活動拠点数の増加 〔資料：保健予防課調べ〕	(参考値) 禁煙を支援する薬局 260 栄養ケアステーション 1 (平成24年)	380 (平成34年度)

5 生活習慣及び社会環境の改善

(1)栄養・食生活

ア 適正体重を維持している者の増加

指標項目	現状	目標
①適正体重を維持している者の増加(肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少) 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	20歳～60歳代男性の肥満者の割合 29.5% 40歳～60歳代女性の肥満者の割合 19.4% 20歳代女性のやせの者の割合 25.0% (平成22年度)	20歳～60歳代男性の肥満者の割合 26.5% 40歳～60歳代女性の肥満者の割合 16.6% 20歳代女性のやせの者の割合 17.2% (平成34年度)
②朝食欠食者の減少 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	成人男性 11.5% 成人女性 8.5% (平成22年度)	成人男性 9% 成人女性 7% (平成34年度)

## イ適切な量と質の食事をとる者の増加

### (ア)主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加

指標項目	現状	目標
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加 〔資料：内閣府「食育の現状と意識に関する調査(平成23年12月)」〕	63.3% (平成23年度)	80% (平成34年度)

### (イ)食塩摂取量の減少

指標項目	現状	目標
食塩摂取量の減少 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	11.7g (平成22年度)	8g (平成34年度)

### (ウ)野菜と果物の摂取量の増加

指標項目	現状	目標
野菜と果物の摂取量の増加 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	野菜摂取量の平均値 307.5g 果物摂取量100g未満の者の割合 57.2% (平成22年度)	野菜摂取量の平均値 350g 果物摂取量100g未満の者の割合 30% (平成34年度)

## ウ 共食の増加

指標項目	現状	目標
食事を1人で食べる子どもの割合の減少 〔資料：平成24年度食事習慣に関するアンケート調査(保健予防課)〕	朝食 小学5年生 9.8% 中学2年生 31.2% 夕食 小学5年生 2.3% 中学2年生 5.4% (平成24年度)	減少傾向へ (平成34年度)

## エ 食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店の登録数の増加

指標項目	現状	目標
食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む飲食店等の登録数の増加 〔資料：平成24年5月元気県ぐんま21協力店〕	飲食店等登録数 125店舗 (平成24年)	飲食店等登録数 220店舗 (平成34年度)

## オ 利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加

指標項目	現状	目標
利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加 〔資料：厚生労働省「平成22年度衛生行政報告例」〕	(参考値) 管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 72.1% (平成22年度)	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合 85% (平成34年度)





(2) 身体活動・運動

ア 日常生活における歩数の増加

指標項目	現状	目標
日常生活における歩数の増加 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	20歳～64歳 男性 8,362歩 女性 6,403歩 65歳以上 男性 4,589歩 女性 5,014歩 (平成22年度)	20歳～64歳 男性 9,500歩 女性 8,000歩 65歳以上 男性 6,000歩 女性 6,500歩 (平成34年度)

イ 運動習慣のある者の割合の増加

指標項目	現状	目標
運動習慣のある者の割合の増加 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	20歳～64歳 男性 28.4% 女性 24.1% 65歳以上 男性 50.0% 女性 36.1% (平成22年度)	20歳～64歳 男性 38.0% 女性 34.0% 65歳以上 男性 60.0% 女性 46.0% (平成34年度)

ウ 住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む市町村数の増加

指標項目	現状	目標
住民が運動しやすいまちづくり・環境整備に取り組む市町村数の増加 〔資料：平成24年度市町村取組状況調査(保健予防課)〕	26市町村 (平成24年度)	全市町村 (平成34年度)

(3) 休養

ア 睡眠による休養を十分とれていない者の減少

指標項目	現状	目標
睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	20歳以上 19.2% (平成22年度)	20歳以上 15.6% (平成34年度)

イ 週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少

指標項目	現状	目標
週労働時間60時間以上の雇用者の割合の減少 〔資料：総務省「平成23年労働力調査」〕	(参考)全国値 9.3% (平成23年)	5.0% (平成32年)

#### (4) 飲酒

##### ア 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少

指標項目	現状	目標
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(1日当たりのアルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	男性 16.2% 女性 7.1% (平成22年度)	男性 13.8% 女性 6.0% (平成34年度)

##### イ 未成年者の飲酒をなくす

指標項目	現状	目標
未成年者の飲酒をなくす 〔資料：厚生労働科学研究「未成年者の喫煙・飲酒状況に関する実態調査研究」〕	(参考)全国値 中学3年生 男子 10.5% 女子 11.7% 高校3年生 男子 21.7% 女子 19.9% (平成22年)	0% (平成34年度)

##### ウ 妊娠中・授乳中の飲酒をなくす

指標項目	現状	目標
妊娠中の飲酒をなくす 〔資料：平成22年度乳幼児身体発育調査〕	2.0% (平成22年度)	0% (平成26年度)

#### (5) 喫煙

##### ア 成人の喫煙率の減少

指標項目	現状	目標
成人の喫煙率の減少 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	22.4% (平成22年度)	12.0% (平成34年度)

##### イ 未成年者の喫煙をなくす

指標項目	現状	目標
未成年者の喫煙をなくす 〔資料：厚生労働省「平成22年国民生活基礎調査」〕	12~19歳 男子 1.4% 女子 1.4% (平成22年)	0% (平成34年度)

##### ウ 妊娠中の喫煙をなくす

指標項目	現状	目標
妊娠中の喫煙をなくす 〔資料：平成22年度乳幼児身体発育調査〕	1.3% (平成22年度)	0% (平成26年度)



エ 受動喫煙の機会を有する者の割合の減少

指標項目	現状	目標
①受動喫煙防止対策未実施の施設の割合の減少 〔資料：(行政機関)保健予防課調べ、(医療機関)厚生労働省「平成23年医療施設静態調査」〕	行政機関 10.0% (平成24年度) 医療機関 5.9% (平成23年)	行政機関 0% 医療機関 0% (平成34年度)
②受動喫煙の機会を有する者の割合の減少 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	職場 53.1% (平成22年度)  家庭 15.2% 飲食店 52.3% (平成22年度)	職場 受動喫煙の無い職場の実現 (平成32年) 家庭 3.0% 飲食店 15.0% (平成34年度)

(6)歯・口腔の健康

ア 口腔機能の維持・向上

指標項目	現状	目標
①3歳で不正咬合等が認められる者の減少 〔資料：平成23年度母子保健事業報告〕	11.3% (平成23年度)	10% (平成34年度)
②60歳代食事にムセたりすることがない者の割合の増加 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	82.6% (平成22年度)	85% (平成34年度)

イ 自分の歯を保つ

指標項目	現状	目標
①80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 〔資料：平成23年度成人歯科保健実態調査〕	50.9% (平成23年度)	60% (平成34年度)
②60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加 〔資料：平成23年度成人歯科保健実態調査〕	68.5% (平成23年度)	80% (平成34年度)
③40歳で喪失歯のない者の割合の増加 〔資料：平成23年度成人歯科保健実態調査〕	58.5% (平成23年度)	75% (平成34年度)

## ウ 歯周病を有する者の減少

指標項目	現状	目標
①17歳における歯肉に炎症所見を有する者の減少 〔資料：平成23年度学校保健統計調査〕	32.2% (平成23年度)	20% (平成34年度)
②40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少 〔資料：平成23年度成人歯科保健実態調査〕	40.0% (平成23年度)	30% (平成34年度)
③40歳代における歯石除去や歯面清掃を定期的に受ける者の割合の増加 〔資料：平成23年度成人歯科保健実態調査〕	24.0% (平成23年度)	40% (平成34年度)
④40歳代で歯間清掃用具を使用する者の割合の増加 〔資料：平成23年度成人歯科保健実態調査〕	34.4% (平成23年度)	50% (平成34年度)
⑤50歳代における進行した歯周炎を有する者の減少 〔資料：平成23年度成人歯科保健実態調査〕	50.0% (平成23年度)	40% (平成34年度)
⑥喫煙により歯周病にかかりやすくなることを知っている者の割合の増加 〔資料：平成22年度群馬県民健康・栄養調査〕	43.5% (平成22年度)	100% (平成34年度)

## エ 乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加

指標項目	現状	目標
①3歳でう蝕のない児の割合の増加 〔資料：平成23年度母子保健事業報告〕	79.5% (平成23年度)	85% (平成34年度)
②3歳までにフッ化物歯面塗布を受けている児の割合の増加 〔資料：平成23年度母子保健事業報告〕	65.7% (平成23年度)	75% (平成34年度)
③3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する児の割合の減少 〔資料：平成23年度母子保健事業報告〕	24.5% (平成23年度)	15% (平成34年度)
④3歳までに3回以上フッ化物歯面塗布を実施している市町村の割合の増加 〔資料：平成23年度母子保健事業報告〕	80% (平成23年度)	90% (平成34年度)
⑤12歳児の一人平均う蝕数の減少 〔資料：平成23年度学校保健統計調査〕	1.2本 (平成23年度)	0.9本 (平成34年度)
⑥フッ化物洗口を実施する市町村の割合の増加 〔資料：平成24年度保健予防課調べ〕	45.7% (平成24年度)	70% (平成34年度)



## オ 歯科検診の受診者の増加

指標項目	現状	目標
①40歳代でかかりつけ歯科医をもつ人の割合の増加 〔資料：平成23年度成人歯科保健実態調査〕	81.4% (平成23年度)	90% (平成34年度)
②健康増進事業における歯周疾患検診を実施する市町村の増加 〔資料：平成23年度健康増進事業実績〕	57.1% (平成23年度)	80% (平成34年度)
③定期的な歯科検診を受ける人の割合の増加 〔資料：平成23年度成人歯科保健実態調査〕	26.4% (平成23年度)	40% (平成34年度)
④妊婦を対象とした歯科検診を実施している市町村の増加 〔資料：平成23年度保健予防課調べ〕	34.3% (平成23年度)	50% (平成34年度)